



2015年9月10日

各位

中外製薬株式会社
Helsinn グループ

中外ファーマ・UK Netupitant-palonosetron 配合剤「Akynzeo[®]」の販売を英国で開始

中外製薬株式会社 [本社：東京都中央区／代表取締役会長 最高経営責任者：永山 治]（以下、中外製薬）と中外製薬の100%子会社である中外ファーマ・マーケティング・リミテッド [本社：英国・ロンドン／社長：John Halls]（以下、CPM）、および高品質のがん治療薬の創製に注力している Helsinn グループ [本社：スイス・ルガーノ／最高経営責任者：Riccardo Braglia] は、抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐の予防を適応症とする選択性の高い NK₁ レセプター拮抗薬「netupitant」と5-HT₃ レセプター拮抗薬「palonosetron」の経口配合剤である『Akynzeo[®]』について、CPMの100%子会社である中外ファーマ・UK・リミテッド [本社：英国・ロンドン／社長：Ruth Currie]（以下、CPU）が英国における販売を9月1日より開始したことをお知らせいたします。CPMは、Akynzeoの独占的販売権をHelsinn Healthcare S.A.より許諾されています。

CPM社長のJohn Hallsは、「本年1月からの『Aloxi[®]』発売に続いて、CPUが二つの異なる作用機序を併せ持つ新しい抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐の治療薬 Akynzeo を患者さんにお届けすることを喜ばしく思います」と述べるとともに、「私たち CPM は、Helsinn をはじめとするパートナーとの強固な連携とパートナーシップによって、今後も更に欧州マーケットにおけるがん支持療法市場でのプレゼンスを向上させていくことを確信しています」と語っています。

Helsinn グループの最高経営責任者である Riccardo Braglia は、「Helsinn は中外製薬と緊密な関係を築いており、英国において我々のパートナーが Akynzeo を発売することを嬉しく思います」と語るとともに、「我々は、Akynzeo が患者さんの新たな治療選択肢となり、化学療法に伴う急性および遅延性の悪心・嘔吐の予防に対して重要な役割を果たすことを確信しています」と述べています。

抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐は、がん化学療法における最も一般的な副作用のひとつです。これらの予防には明確なガイドラインがあり、また、複数の作用機序の薬剤の併用が推奨されています。

Akynzeo は、二つの制吐剤を一つの経口カプセル剤としています。NK₁ レセプター拮抗薬、5-HT₃ レセプター拮抗薬およびデキサメタゾンによる治療は、催吐性の高い薬剤およびアントラサイクリン、シクロホスファミドをベースとする化学療法後の最適な制吐療法としてガイドラインに記載されています。

また、欧州医薬品庁（CHMP）が発表した見解*においても、「患者さんが服用する製剤の数を減らすことで治療が簡略化され、さらなる服薬遵守率の向上に寄与する可能性がある」と記載されています。

中外製薬と CPM は、Akynzeo が新たな治療選択肢として、抗悪性腫瘍剤投与にともなう悪心・嘔吐に苦しむ英国の患者さんに福音をもたらすものと確信しています。

*http://www.ema.europa.eu/docs/en_GB/document_library/Summary_of_opinion/human/003728/WC500184907.pdf

以上

製 品 名： Akynzeo®

一 般 名： Netupitant / Palonosetron

剤 形： netupitant 300mg / palonosetron 0.5mg 含有の硬カプセル

効能・効果： ・シスプラチンを含む高度催吐性抗悪性腫瘍剤投与に伴う急性及び遅延性悪心、嘔吐の予防
・中等度催吐性抗悪性腫瘍剤投与に伴う急性及び遅延性悪心、嘔吐の予防

用法・用量： 成人のみ、化学療法 1 時間前に 1 カプセルを 1 回投与

欧州承認日： 2015 年 5 月 27 日

承認取得者： Helsinn Healthcare S.A.

販 売 会 社： 中外ファーマ・UK・リミテッド

販 売 国： 英国、アイルランド

発 売 日： 2015 年 9 月 1 日（英国）、未定（アイルランド）

中外ファーマ・マーケティング・リミテッド（CPM）について

CPM は、欧州における医薬品の開発・申請・メディカル・輸入・販売を行う拠点であり、販売に関しては英国、フランス、ドイツの子会社および支店が情報提供活動を行っています。現在、これらの国々ではヒト化抗ヒト IL-6 レセプターモノクローナル抗体の RoACTEMRA®（トシリズマブ）、G-CSF 製剤の Granocyte®（レノグラスチム）、英国およびアイルランドでは抗潰瘍剤の Antepsin®（スクラルファート）、英国では制吐剤の Aloxi（パロノセトロン）を販売しています。さらに、視神経脊髄炎を対象として抗 IL-6 レセプターヒト化モノクローナル抗体の SA237、アトピー性皮膚炎を対象として抗 IL-31 レセプターヒト化モノクローナル抗体の CIM331 の開発を行っています。

中外製薬について

中外製薬は、医療用医薬品に特化し東京に本社を置く、バイオ医薬品をリードする研究開発型の東京証券市場一部上場の製薬企業であり、ロシュ・グループの重要メンバーとして、国内外で積極的な医療用医薬品の研究開発活動を展開しています。特に「がん」領域を中心に、アンメット・メディカルニーズを満たす革新的な医薬品の創製に取り組んでいます。

国内では、御殿場、鎌倉の研究拠点が連携して創薬研究活動を行う一方、浮間では工業化技術の研究を行っています。海外では、シンガポールに拠点を置く中外ファーマボディ・リサーチが革新的な抗体創製技術を駆使し新規抗体医薬品の創製に特化した研究を行っています。また、米国と欧州では、中外ファーマ・ユー・エス・エー、中外ファーマ・マーケティングが臨床開発活動を行っています。2014年の連結売上高は4,611億円、営業利益は773億円（Coreベース）でした。

中外製薬に関するさらに詳しい情報は <http://www.chugai-pharm.co.jp/> をご覧ください。

Helsinn グループについて

Helsinn は、大規模な製品ポートフォリオを有し、高品質のがん治療薬の創製に注力している非上場製薬会社です。1976年にスイス・ルガーノに本社を設立し、アイルランドおよび米国で子会社を運営し、中国には駐在員事務所を保有しています。Helsinn のビジネスモデルは、がん治療における医薬品、医療機器およびサプリメントのライセンスへの注力です。

Helsinn グループは、早期から後期開発ステージの新規化合物を導入し、前臨床および臨床研究、これに伴う生産活動を行うとともに、世界各国で製造販売承認を取得するために必要な規制当局への申請準備を行います。Helsinn の製品は、グローバルな販売ネットワークを有し、各国市場に造詣が深く、高い倫理観をもつ提携パートナーに導出されています。Helsinn は、科学的な見地からの商業、規制およびメディカルマーケティング支援などを通じて、これらのパートナーをサポートしています。2013年3月、米国市場で販売・マーケティング活動を直接行うため、子会社である Helsinn Therapeutics (U.S.), Inc. に新たな販売組織を設立しました。Helsinn の製品は、スイスおよびアイルランドにある Helsinn の GMP 準拠施設で最高の品質、安全性および環境基準に準じて製造され、世界中の顧客に供給されています。

Helsinn グループに関するさらに詳しい情報は、www.helsinn.com をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先：

中外製薬株式会社

広報 IR 部 メディアリレーションズグループ

Tel : 03-3273-0881

mailto: pr@chugai-pharm.co.jp

Helsinn Group

Paola Bonvicini

Head of Communication & Press Office

PH +41 91-985-21-21

info-hhc@helsinn.com